

新技術・新商品の創出に向けた新たな取り組み



柘植 俊明*
Toshiaki Tsuge

当社グループは、1884年に銅と電線の事業で創業して以来、時代の要請に応じて、様々な技術、商品を創出してきており、「世紀を超えて培ってきた素材力を核として絶え間ない技術革新により、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献します」を基本理念に掲げて企業活動を行ってきています。精銅・電線から始まった技術は、幅広い分野に裾野を広げており、現在は、創業以来培ってきた素材力に高周波エレクトロニクス技術を加えた「メタル」「ポリマー」「フォトリソ」「高周波」の4つをコア技術としています。

このコア技術をベースにした研究開発では、「インフラ・自動車部品などの注力分野での新製品開発」と「社会課題を解決する新事業創出」を目指しておりますが、その新製品開発のスピードアップと新事業創出の加速を目的として、近年オープンイノベーションへの取り組みを積極的に推進しており、2016年にオープンラボ「FunLab®」を開設するとともに、いくつかの施策を実施してきました。

今回の小特集号「新技術・新商品へのチャレンジ」の発刊にあたり、これらのオープンイノベーションへの取り組みを時系列順にご紹介致します。

2016年8月に横浜事業所内に開設したFunLabには多数の産学官地域の方々にお越し頂いており、2018年9月時点で累計来場者数が1,000名を突破しました。想定を超える反響であり、現在施設の拡張強化を図っております。

2019年7月に新生FunLabに生まれ変わる予定です。

2017年9月には、営業部門との連携で先行開発センターを設立しました。お客様の声に素早く対応して、プロトタイプを作成するとともにソリューション提案を行う活動を行っています。顧客の潜在要求起点での新事業創出にチャレンジしています。

2018年2月には、東京大学との社会連携講座をスタートしました。従来から既存テーマベースでの産学連携は密に行ってきましたが、枠に捕らわれない広範囲な組織間の連携という新しいオープンイノベーションのあり方にチャレンジしています。

2018年5月には、ベンチャー企業との連携強化に向けて、アクセラレータCreww社との協業活動を開始しました。ベンチャー企業のスピード感を実感しながら、新分野での事業創出にチャレンジしています。

2018年8月には、米国シリコンバレーに新たに研究拠点SVIL(Silicon Valley Innovation Laboratories)を新設しました。ベンチャー企業、大学とのグローバルな連携を強化しており、シリコンバレー発の新事業にチャレンジしています。

このように我々は様々なオープンイノベーションの施策にチャレンジし続けております。ご興味の方とは是非とも議論の場を設けたいと思います。新生FunLabにてお待ちしておりますのでお声がけ下さい。

* 研究開発本部 企画部長